



茨城の土木遺産

なか ぼし
央橋 (常陸太田市)
昭和12年 (1937年) 竣工

昭和12年に水戸と奥州街道を結ぶ旧棚倉街道（現国道349号）の里川に架設された。山紫水明の地に画期的な造形美を誇るローゼ橋（橋長34.0m、幅員6.0m）。今でも地域のランドマークとなっており、地元では、そのユニークな形から「めがね橋」の愛称で親しまれている。今から80年以上も前に美しいデザインを橋を架けたという事実に、地域の人々の街道に寄せる思いの深さを感じさせる。国登録有形文化財。平成22年度には土木学会選奨土木遺産に認定された。

主な内容

- ▼ 理事会で上半期事業・決算を報告
- ▼ 延べ 1100 名が鳥インフル防疫活動に尽力
- ▼ 経営企画委員会・土木委員会がDXなど勉強会
- ▼ 建設DX出前授業を実施

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局